

令和 7 年度 委託第 4 1 号 西遠浄化センター放流水水質動態調査業務 仕様書

第 1 条 目的

西遠浄化センターの放流水が、水生生物等の周辺環境へ及ぼす影響を評価する。

第 2 条 調査概要

1 調査時期

- (1) 放流水水質調査（海洋調査）：冬季
- (2) 馬込川河口域水質動態調査：冬季

2 調査位置

- (1) 放流水水質調査（海洋調査）：図 1 に示す 4 測点
- (2) 馬込川河口域水質動態調査：図 2 に示す 7 測点

3 調査項目

- (1) 放流水水質調査（海洋調査）

1) 海洋調査

- ①水質（4 測点）

2) 関係資料の収集・整理

- ①気象関連資料 ②流入負荷量関連資料 ③公共用水域水質測定結果
- ④海象・漁況関連資料

- (2) 馬込川河口域水質動態調査

- ①水質調査（7 測点）

4 調査方法

- (1) 放流水水質調査（海洋調査）

1) 海洋調査

図 1 に示す 4 測点において、大潮期の干潮時付近の時間帯に表層（海面下 0.3 m 層）から北原式採水器又はバンドーン型採水器を用いて採水し、表 1 に示す調査項目について観測又は分析を行う。なお、干潮時の前後 2 時間は、干潮時とみなす。

2) 関係資料の収集・整理

現地調査期間中及び調査前の気象状況、公共用水域水質測定結果及び西遠・中部浄化センター放流水水質試験結果等の関連する既存資料を収集し、整理する。

① 気象関連資料

- ・ 現地調査の 2 週間前から現地調査期間中までの天気図、気温及び降水量等

[日本気象協会資料]

② 流入負荷量関連資料

- ・ 西遠浄化センター放流量・放流水質
- ・ 中部浄化センター放流量・放流水質

[浜松市資料提供]

[浜松市資料提供]

③ 公共用水域水質測定結果

- ・ 河川：馬込川白羽橋及び芳川新川橋
- ・ 海洋：馬込川沖

[浜松市ホームページ等資料]

[浜松市ホームページ等資料]

④ 海象・漁況関連資料

- ・ 現地調査の数週間前から現地調査期間までの海洋表面水温分布図

[漁業情報サービスセンター等資料]

(2) 馬込川河口域水質動態調査

1) 調査時期

シラスウナギ漁期と同じ操業期間内のうち、日没～夜間にかけて満潮～干潮を迎える大潮時とし、調査期間は満潮時と干潮時の2回とする。なお、満潮時及び干潮時の前後2時間は、満潮時及び干潮時とみなす。

2) 水質調査

図2に示す7測点における水質を把握し、放流に関連する水質動態の検討資料とするため、同測点において表層（水深の2割層）水を採水し、表2に示す調査項目について観測及び分析を行う。

5 分析方法

J I S、環告第59号（環境基準）、下水試験方法及び海洋観測指針等の公定法によるものとする。

第3条 打合せ協議

本業務を円滑に実施するため、受託者の定める業務責任者等は下記に定める時期に担当職員と打合せを行うものとする。

- ・ 業務着手時1回、中間打合せ時1回、作業完了時（成果品納入時）1回の計3回行う。
（打合せ時には漁業団体等への説明及び報告等を含む。）

第4条 整理・解析等

1 整理・解析

各調査項目等における調査結果、関係資料等を整理し、過去の調査結果も踏まえた環境基準等との比較や既存資料との比較をし、各調査結果に考察を加える。

2 検査成績書

分析項目のうち計量証明該当項目については、計量証明書を作成し提出すること。

また、過去の調査結果の範囲を逸脱するような異常値及び環境基準値等を超える値が検出された場合には、速やかに上下水道部下水道施設課へ連絡すること。

第5条 疑義

本業務を実施するにあたり、本仕様書に定めなき事項や内容について疑義が生じた場合は、担当職員と協議のうえ決定する。

第6条 報告書及び成果品

業務を完了したときは、直ちに業務完了報告書を委託者に提出しなければならない。また、調査結果及び収集資料をとりまとめ、A4版の成果品2部とA4版の概要報告書8部を提出するものとする。

電子データについても電子メール等で提出するものとする。



〔国土地理院地形図〕

調査対象範囲

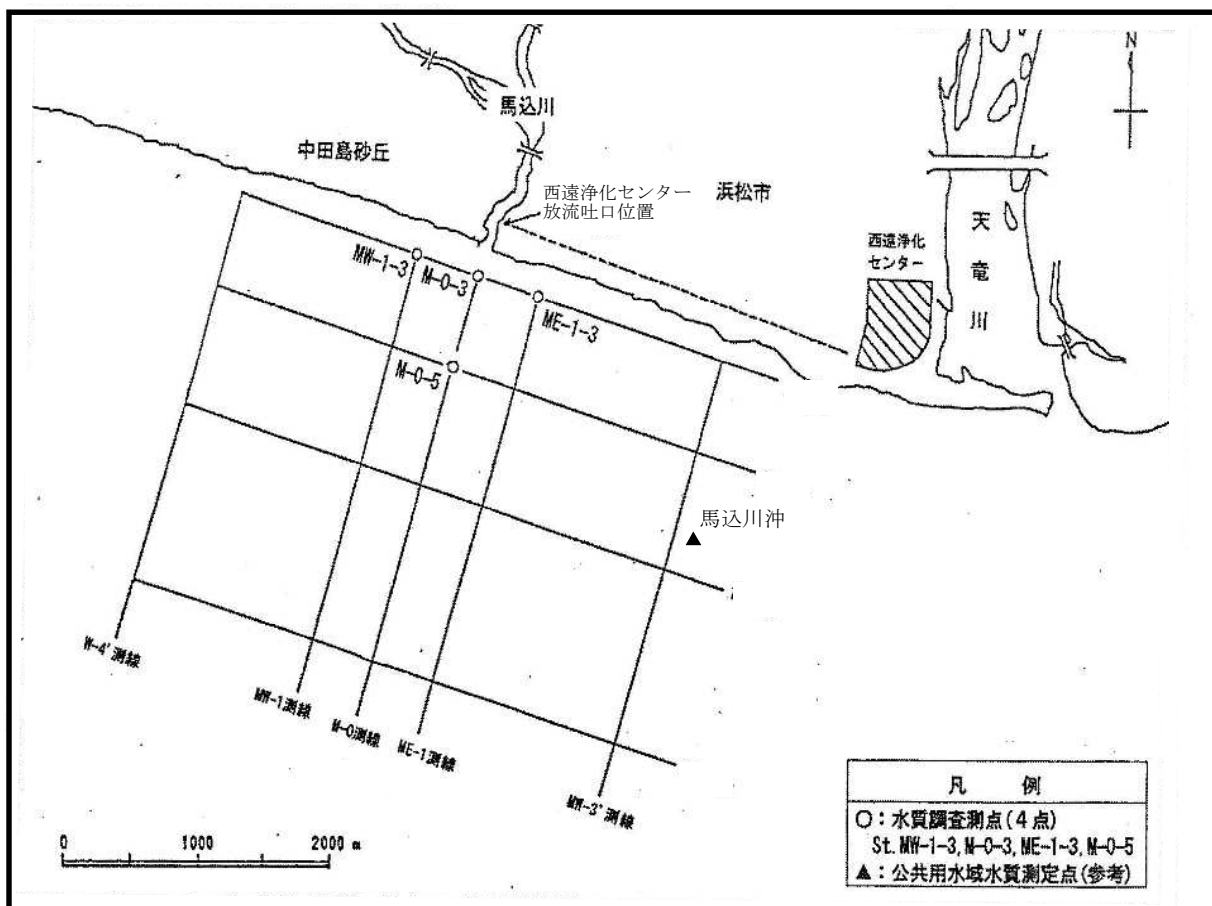


図 1. 海洋調査位置図

	測 点	緯 度	経 度
1	ME-1-3	34度39分08~09秒	137度45分08~09秒
2	M-0-3	34度39分13~14秒	137度44分50~51秒
3	M-0-5	34度38分53~54秒	137度44分41~42秒
4	MW-1-3	34度39分19~20秒	137度44分31~32秒
▲	馬込川沖(参考)	34度37分48~49秒	137度46分01~02秒

※ 上記、緯度及び経度はおおよその目安

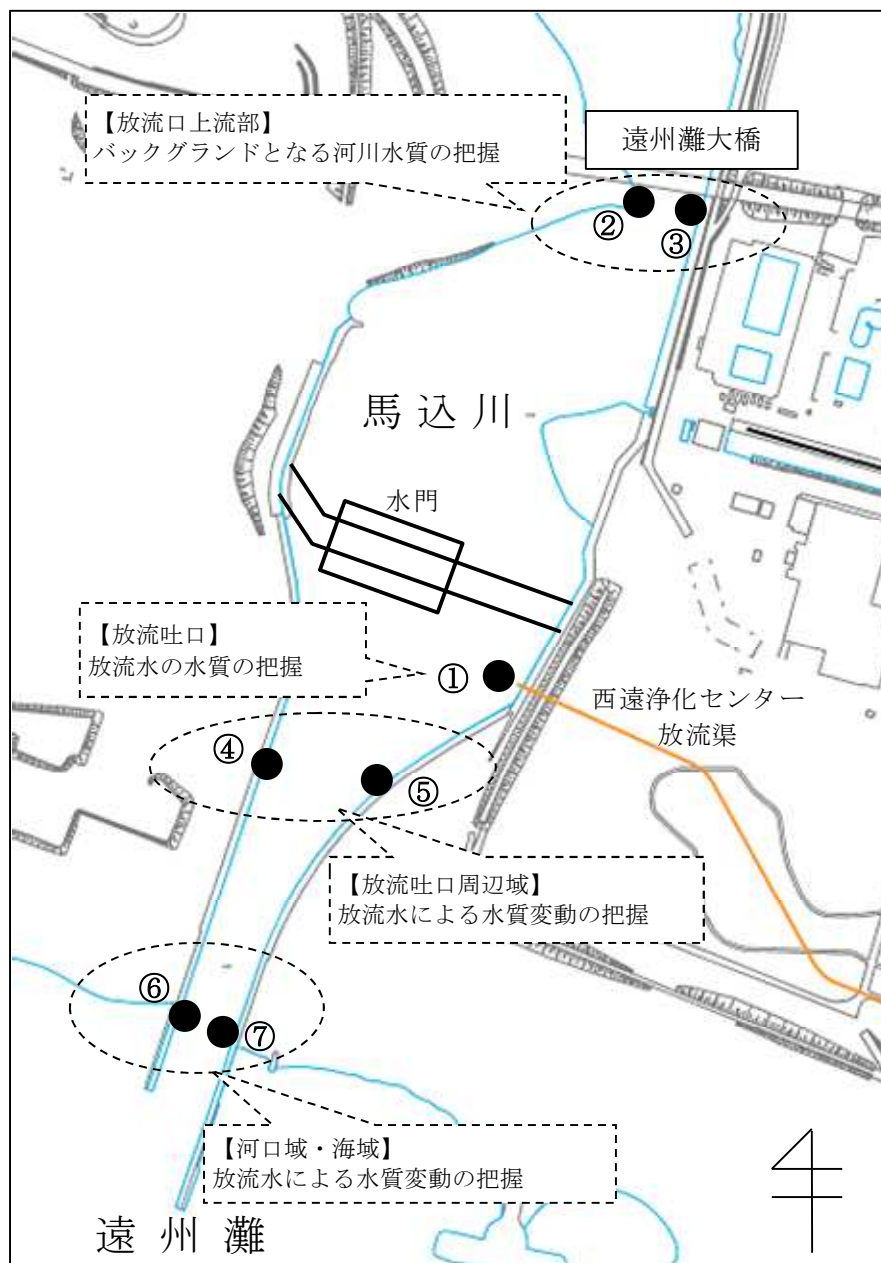


図2. 馬込川河口域水質動態調査位置図

	水質調査地点名称
①	西遠浄化センター放流吐口
②	上流部遠州灘大橋右岸
③	上流部遠州灘大橋左岸
④	右岸下流部
⑤	左岸下流部
⑥	右岸導流堤内側
⑦	左岸導流堤内側

表1 海洋調査内容及び検体数

調査測点		ME-1-3	M-0-3	M-0-5	MW-1-3
測定回数		干潮時（計1回）			
採取深度		表層（海面下0.3 m層）（計1層）			
観測項目 （6項目）	水深	○	○	○	○
	水温	○	○	○	○
	水色	○	○	○	○
	臭気	○	○	○	○
	透視度	○	○	○	○
	透明度	○	○	○	○
分析項目 （10項目）	水素イオン濃度	○	○	○	○
	溶存酸素量	○	○	○	○
	酸素飽和度	○	○	○	○
	浮遊物質	○	○	○	○
	化学的酸素要求量	○	○	○	○
	塩分	○	○	○	○
	大腸菌数	○	○	○	○
	アンモニア態窒素	○	○	○	○
	全窒素	○	○	○	○
	全リン	○	○	○	○
検体数（計4検体）		1	1	1	1

表2 馬込川河口域水質動態調査内容及び検体数

調査測点		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
測定回数		満潮時、干潮時（計2回）						
採取深度		表層（水深の2割層）（計1層）						
観測項目 （5項目）	水深	○	○	○	○	○	○	○
	水温	○	○	○	○	○	○	○
	水色	○	○	○	○	○	○	○
	臭気	○	○	○	○	○	○	○
	透視度	○	○	○	○	○	○	○
分析項目 （11項目）	水素イオン濃度	○	○	○	○	○	○	○
	溶存酸素量	○	○	○	○	○	○	○
	浮遊物質	○	○	○	○	○	○	○
	生物化学的酸素要求量	○	○	○	○	○	○	○
	化学的酸素要求量	○	○	○	○	○	○	○
	大腸菌数	○	○	○	○	○	○	○
	塩分	○	○	○	○	○	○	○
	塩化物イオン	○	○	○	○	○	○	○
	全残留塩素	○	○	○	○	○	○	○
	遊離残留塩素	○	○	○	○	○	○	○
	アンモニア態窒素	○	○	○	○	○	○	○
検体数（計14検体）		2	2	2	2	2	2	2